

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

		取組レベル		作成日：令和 3年 9月 21日 企業・団体名：有限会社西山建設																		
カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		社員教育および就業規則への規定					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		同上					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		社員教育および就業規則、育児介護休業規定を整備。法定以上の規定あり(育児目的休暇・子の看護休暇等)※高知県ワークライフバランス推進企業認証								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		外国人技能実習生の受け入れに向け、技能実習責任者講習を受講済み。※5年以内の運用予定あり				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		基本的な法令の遵守、講習等の受講。法定外の建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育の実施(直近令和1年7月)				3				8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持するための対策に取り組んでいる	●		健康診断および医師、保健師による個別面談の実施。				3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		定年の引き上げ(満70歳)、ICT建機、ドローン測量等の運用による、男女、年齢差によらない業務の整備。(来年度までに導入予定)					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		特別教育、技能講習、資格試験等の費用負担や、当該日を出勤扱いの対応。資格取得に関しては、希望性としており社員の意思を尊重している。				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		業務内容、就業規則に則って適切に管理している。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる	●		基本的な健康診断に加え、事務所内の禁煙化、また社員の増加に伴う新型コロナ対策として、3蜜の回避のため事務所の増設(別棟)				3				8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している	●		zoomの利用による講習、会議等の実施。				3				8	9.1	11	12						
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●		上記No. 7のICTを含め、現場管理、写真管理のアプリの導入、クラウド、サーバー利用による紙媒体の減少化等。								8	9.1	11	12						
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		一般廃棄物、産業廃棄物ともに適正に管理。電子マニフェスト導入済。※エコアクション21認証									11.6	12.4	14.1						
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		エコアクション21の取組として、使用料の把握、使用率減少をデータ化している。							7.3				13						
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		上記No. 14に加え、節電および事務所内電力の自給自足化(太陽光発電および蓄電池の導入)、化石燃料の使用の把握、抑制、社用車をハイブリット車に変更するなどの取組。						7.2 7.3			12.4	13.3							
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		法令に基づき適切に管理。				3.9		6.3			11.6	12.4							
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		同上						6.6							15				
	18	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる	●		現場仮設材の転用(再利用)、一般ゴミの適切な分別によるリサイクルの推進。										12.5	14.1						

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる	●	CO2の削減は、計画、目標を立てエコアクション21で環境経営レポートとして開示している。またカーボンオフセットによる相殺を実施。※(高知県林業事務所発注工事全てに適用)								7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6 11.a	12.8	13					17.2		
	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる	●	計画、目標を定め節水に取り組み、河川工事では濁水の発生を抑制している。						6.4 6.6													
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している	●	エコアクション21認証。			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	●	エコアクション21によるデータおよび分析について、環境経営レポートとして開示。												12.6							
	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる	●	ハイブリッド車、太陽光発電、蓄電池の導入。								7.2							13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	●	太陽光発電、蓄電池を導入している。												12.2	13	14	15				
	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる	●	余った食材を社員や近所に配布したり、事務所内職員の昼食を統一しロスを減らしている。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15			17	
公正な事業慣行	26 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●	法令遵守および社員教育を実施。																	16 16.5		
	27 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●	同上																		16	
	28 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●	同上								8.2 8.3	9										
	29 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●	同上																		16	
	30 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	●	確認している。																		16	
	31 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	●	業務に合わせ担当者を任命し、定期的にチェックしている。				5				8		10	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	32 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●	重機の特定自主検査に加え、外部業者による定期的なメンテナンスを実施。			3.9								12.4								
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●	構造物の設計以上の強度確保。例)①コンクリート呼び強度18を21に上げる。②プレキャスト製品の利用。※大型ブロックの使用による品質、出来形の向上。									9										
	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)	●	型枠や看板への高知県産木材の利用やグリーン購入。PC等ではRoHS指令準拠製品の購入の実施。						6					12	13	14	15					
	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している	●	倉庫内での棚や鋼材保管の際の緩衝材として、廃材や端材の再利用を行っている。					6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	36 【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	●	ICT化による省人化、工期の短縮による地域社会への影響の減少	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		カーボンオフセット(林業振興部)や、ですかでゴー(環境の社こうち)への寄付の実施。										9			11	12				14	15		17	
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる			上記No. 37に加え、BCP関連の取組として中芸地区内での年に一回のボランティア(例田野町内の老朽化したブロック塀の調査および田野町役場への報告。)													11						14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外銷に努めている			県内で製造される建設資材(コンクリート製品等)、高知県産木材の積極的利用。										8	9			11	12							
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		業務内容、法令によって担当者を定め周知徹底している。																					16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		管理職だけではなく、現場担当者にも経営理念に基づく情報の共有を行っている。										8	9										17	
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		担当者を任命している。																					16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者(ステークホルダー) ※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客(主に高知県および田野町)に対し情報共有を行い、社会に対しても事業の公表を行っている。																				16	17	
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	●		担当者を定め、法令のチェックリストを用い、改正についても年に1度を旨に確認している。																					16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している	●		外部の専門家(労働安全コンサルタント等)による、パトロールや座学、実地研修を行い、現場でのリスクマネジメントに関しても定期的にチェックしている。																				16		
	46	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	●		対外的な視点から常に考慮し、社会への影響について計画、設計段階から配慮した取組を行っている。																					16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画(BCP)を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント(BCM)にも取り組んでいる	●		BCPの策定および認定。BCPへの取組を評価する制度、南海トラフ地震対策優良取組事業所5つ星認定(南海トラフ地震対策課)									9				11			13 13.1				16		
48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		平成28年に事業承継。次世代への承継に関しても指導・育成を行っている。								8	9												17		
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		社員に対して各々が、在宅時、出勤時共に避難ルートの確認、実際の移動訓練による所要時間の把握を促すなど、具体的計画を策定している。 食料およびH鋼、銅矢板等の緊急時の仮設材の備蓄。													11.5			13.1				16		
	50	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている	●		代表が防災士の資格を取得済みで、田野町消防団にも加入している。社員に対しても防災士等の資格取得を推奨。	1.5			3	4								10.2	11.5		13.1				16	17	
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●		令和3年度、代表がワークライフバランス関連の講習の講師として動画に協力。※SDGsとの関連性等の普及啓発にも言及(土木政策課)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、Uターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している	●		ハローワーク等を利用した通常の求人に加え、高知けんせつ技能者育成コース(今年度対象者は就職氷河期世代)の修了者を対象とした面接会への参加。過去の雇用実績あり。									8.5 8.6												17	
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している	●		河川工事では、生物多様性(鮎等の天然資材の保護)を重視し、山間工事では地域に配慮した工事計画(農業、林業等の他業種への影響を最低限とする)を行っている。									8	9				11								